



外国出張報告書

平成 26 年 9 月 9 日

1. 出張国名 ラオス
2. 出張月 平成 26 年 5～8 月
3. 出張目的 低投入型水稲栽培管理技術及び
乾期水田高度利用技術の開発のための圃場試験：C

4. 成果の概要

低投入型水稲収量改善技術確立の一環として、

①農業研究センターでコウモリ糞を用いたリン酸プライミング処理雨季作水稲栽培試験、
②ナムアン村でリン酸肥沃度を異にする農家水田でのプライミング処理栽培試験を開始した。乾季水田裏作利用のため、③植生調査に基づく利用可能土壌水分のマップ化、④酸性土壌でのアルミニウム害緩和のためにコウモリ糞の効果について稲わら焼却灰の併用効果について検討した。

さらに、水田関連課題の総合化と農家への展示を目的に研究プロジェクトメンバーと協力してナムアン村に展示圃の設置を行った。

また、インドシナ農山村プロジェクトの現地での調整業務として、
ビエンチャン県フアン郡の農林事務所内にプロジェクトの活動内容を紹介する展示スペースを設置するとともに、在ラオス関係機関（日本大使館、JIRCAS 事務所および JICA 専門家）に対する活動報告会の開催準備と水田関連課題に関する報告を行った。